

## < 自然な動きを促すハンガー反射（※）デバイス >

★首や肩のリラックスと快適さをサポートします。



本製品「ハンガー反射デバイス」は、自然な動きを促すことにより、首や肩のリラックスと快適さをサポートすることを目的としています。本製品を頭部に取り付けることで、以下のサポートが期待されます。

1. 痙性斜頸等による首の緊張や不快感の緩和。
2. 寝違いや首の回りにくさを伴う頭痛等による首の痛みや不快感の緩和。

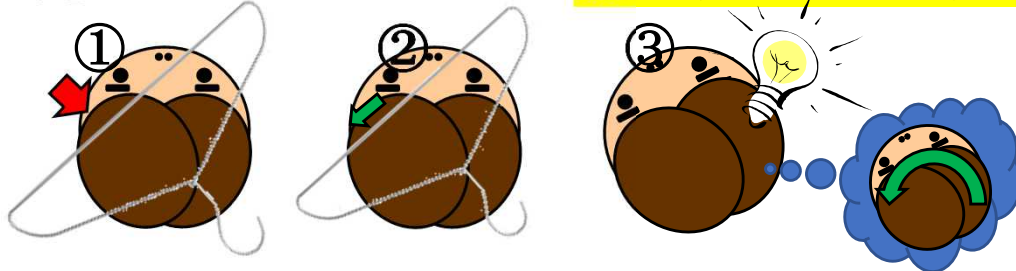
### 【本製品の特徴】

製品価格：¥9,800（税込）

本製品の装着位置を調整することで、反射を左右回旋方向や、頭部を上に向ける動きを促すことができます。\*詳しくは、製品付属の【取扱説明書】をご参照ください。



（※）**ハンガー反射**とは、針金のハンガーを頭にかぶり、ハンガーの長辺が前側頭部を圧迫するように取り付けると**頭が自然と回ってしまう現象**です。



※イラストは、左側頭部を圧迫しています → 頭が左方向に回ります。

### 【本製品の位置づけについて】

本製品は医薬品医療機器等法に基づく医療機器や装具ではありません。本製品は、診断・治療・予防を目的としたものではなく、首や肩のリラックスと快適さをサポートすることを目的とした、一般雑貨（ヘルスケア用品）です。

# 製品仕様・取扱説明（概略）

【非医療機器】

## 【各部の名称】



## 【製品仕様】 型式：3DHR002（サイズ拡張対応）

| 項目      | 内容                             |
|---------|--------------------------------|
| 外形寸法・質量 | 230L×185W×20H 80g              |
| 調整範囲    | 頭囲：50cm～62cm                   |
| 使用素材    | ・本体：Black Resin<br>・クッション：EPDM |

## 【使用方法】 ★詳細につきましては、製品付属の取扱説明書をご参照ください。

### 1. サイズ調整・サイズ拡張

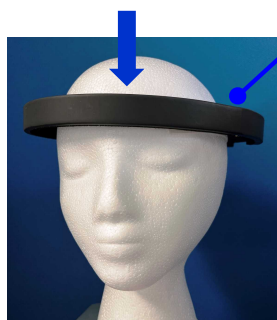


- ① サイズ調整部付属の「面テープ」を外し、調整ピンを、受け穴から引き上げて外してください。
- ② 頭にすこしゆるめにはまる程度の大きさに調整してください。
- ③ 二つの調整バーのピンを受け穴に合わせて嵌め込んでください。→一度装着してサイズを確認します。
- ④ サイズ調整完了後は、調整部に「面テープ」を巻き戻してください。→調整部抜け止めとなります。
- ⑤ 最大に調整しても小さいときは、「サイズ拡張パーツ」を取付けて調整してください。

**注）サイズ調整は必ず本品を頭部から取り外した状態で行ってください。破損の原因となります。**

### 2. 装着方法（左回旋方向へ反射を促したい場合）

本品を調整バーが後ろになるようにし、頭の上から耳の上ぐらいまでかぶります。



調整バーを後ろ側に

そのまま左側の目の上辺りが圧迫されるまで、右方向へ十分に回し、本品から手を離します。

左へまわる感覚が出現



## 【使用上の注意】

- 1) 必ず取扱説明書をよく読み本品を正しく使用してください。
- 2) 装着部位の皮膚に異常が生じる可能性がありますので、本品を30分以上連続して使用しないでください。
- 3) 使用前に破損・変形亀裂・傷・磨耗がないか、適切に機能するかどうかを点検してください。破損等がある場合は使用しないでください。
- 4) 使用中に異常を感じたら直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
- 5) 使用後は、クッション部分を柔らかい乾いた布で汚れなどを拭き取ってください。高温、多湿、直射日光を避け、常温で保管してください。変形する恐れがあります。

★下記リンクから使用方法の動画をご覧ください。



（取扱説明動画）

## ＜製品に関するお問い合わせ先＞

発売元：ハンガーケア

担当：中田 英雄

電話番号：090-1430-6256

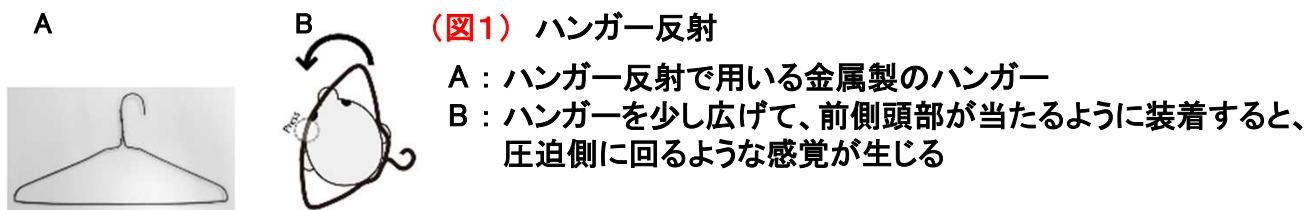
E-Mail：hideo.nakata@hangercare.jp

URL：https://www.hangercare.jp



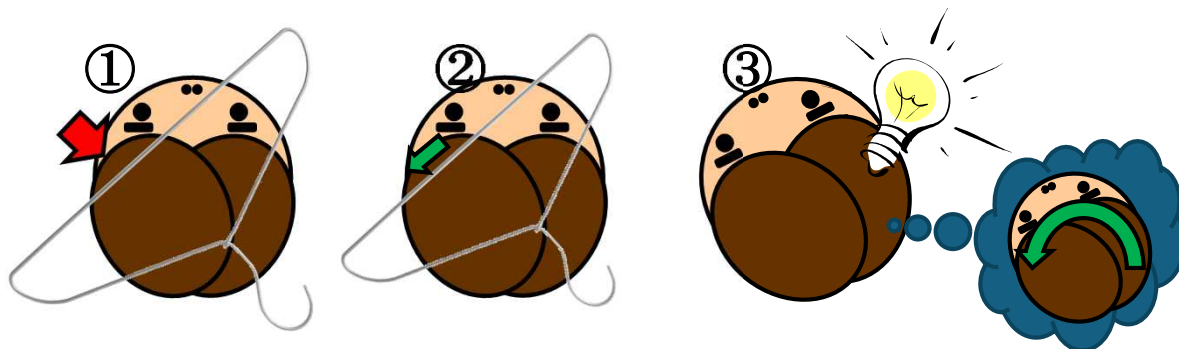
## ハンガー反射とは

ハンガー反射は、針金のハンガーを頭にかぶり、ハンガーの長辺が前側頭部を圧迫するようにすると頭が自然と回ってしまう現象である。(図1)

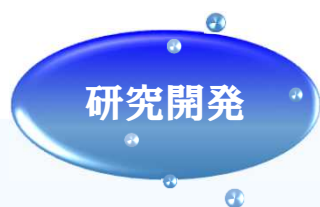


この現象が知られるようになったのは、1995年にあるTV番組で放送されたものがきっかけとなる。ある男性が勉強しているときに、ふと針金のハンガーを頭にかぶってみたところ頭が回ったというものであった。この現象が単行本に記載されたことで、2007年より電気通信大学梶本らにより「ハンガー反射」と命名され、研究が始まった。世界に目を向けると、正方形の段ボールを頭にかぶると頭が回り、痙性斜頸患者の症状が改善したという論文が1991年にLancetに報告されており、これは同様の現象と思われる。

金沢脳神経外科病院 脳神経外科部長 旭 雄士



※イラストは、左前側頭部を圧迫しています → 頭が左方向に回ります。



大学院情報理工学研究科 情報学専攻  
梶本研究室 教授 梶本 裕之

